

第3次産業構成比

77.4%

基礎となるデータ

- 資料：内閣府経済社会総合研究所 国民経済計算年報（平成13年～平成16年）
資料：岩手県総合政策室 平成16年度岩手県県民経済計算市町村民所得年報
- 平成16年滝沢村第1次産業：1,825百万円
 - 平成16年滝沢村第2次産業：19,464百万円
 - 平成16年滝沢村第3次産業：73,085百万円

算 出 式

第3次産業構成比
= 第3次産業における純生産額 ÷ 市町村内純生産額総額

指標の表す意味

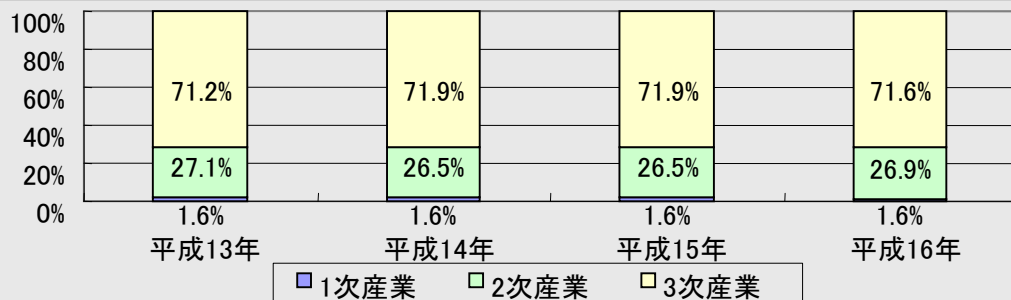
市町村内純生産とは、一定期間内に市町村内の経済部門の生産活動によって新たに生み出された価値（付加価値）を表したものであるという説明は「純生産額」の項目において説明しましたが、第3次産業構成比は、第3次産業によって生み出された価値の割合を表したものです。

- ・第1次産業 農業、林業、水産業
- ・第2次産業 鉱業、製造業、建設業
- ・第3次産業 電気・ガス・水道業、卸売業・小売業、金融・保険業、不動産業、運輸、サービス業、公務など

指標の重要性

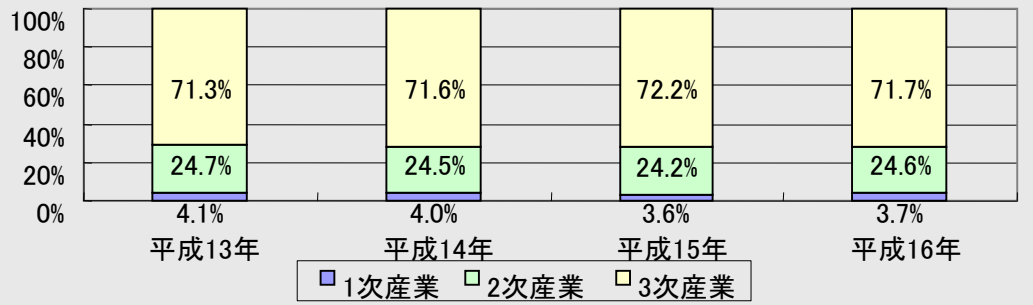
産業構成比は、市町村の産業構造を知る上で重要な指標といえます。第3次産業は、サービス業を中心としていますので、第3次産業が大きくなればなるほど都市化の傾向が強いとされています。

全国 の推移



- 資料：内閣府経済社会総合研究所 国民経済計算年報（平成13年～平成16年）
- 平成16年全国第1次産業：8,053（単位：10億円）
 - 平成16年全国第2次産業：138,845（単位：10億円）
 - 平成16年全国第3次産業：370,084（単位：10億円）

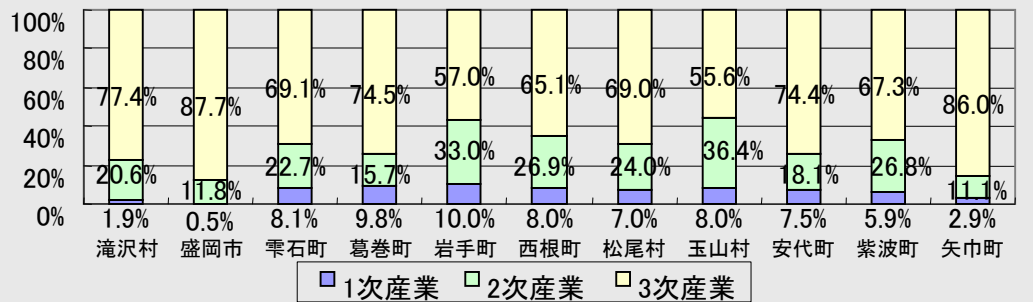
岩手県の推移



資料：岩手県総合政策室 平成16年度岩手県県民経済計算市町村民所得年報

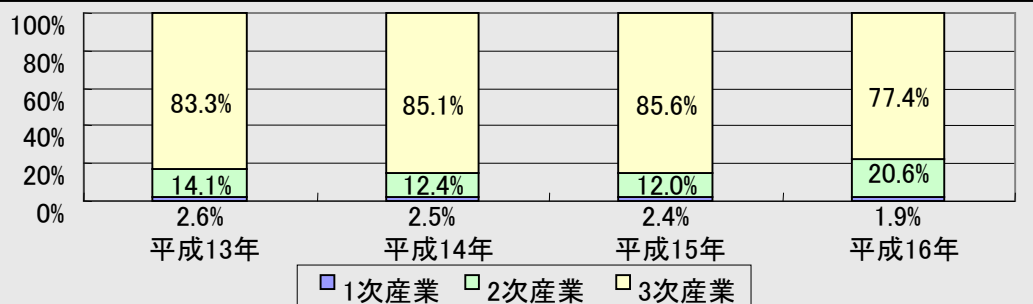
- 平成16年岩手県第1次産業：172,806百万円
- 平成16年岩手県第2次産業：1,164,947百万円
- 平成16年岩手県第3次産業：3,394,407百万円

近隣市町村との比較



資料：岩手県総合政策室 平成16年度岩手県県民経済計算市町村民所得年報

滝沢村の経年比較



資料：岩手県総合政策室 平成16年度岩手県県民経済計算市町村民所得年報

- 平成16年滝沢村第1次産業：1,825百万円
- 平成16年滝沢村第2次産業：19,464百万円
- 平成16年滝沢村第3次産業：73,085百万円

動 向

全国・岩手県における産業構成は、第3次産業が約7割を占めており、経年比較では横ばい傾向となっています。滝沢村における第3次産業は、全国・岩手県・近隣市町村と比較しても大きい値を示していますが、平成16年は伸びていた第3次産業の割合が減少し、第2次産業が伸びる結果となっています。

村の対応

地域産業の活性化に伴う経済的好循環の確立により、バランスの良い産業の発展が望めます。企業誘致による外発的な経済活動だけでなく、村内での内的循環および外的循環を図ることで、滝沢村としての付加価値を高め、地域の活性化を図っていく必要があります。